

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まーちゃんち		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児も支援者も全力で取り組む。	○注意されがちな遊びもルールを決めた範囲内で支援者も一緒に同じ目線で本気で楽しむ事を心掛けている。 ○ワクワク感を大切にしながら必要な準備等も出来るようにしている。 ○突発行動でも危険が無ければすぐに止めず、何を考えて、何を目的に行動しているのか様子を見てから対応するようにしている。	○楽しみながら様々な経験を通じ、生活動作の向上。 ○非日常を味わえる活動の提供(うどんで粘土遊び、室内でシャボン玉、新聞紙散らかし遊び、服を着たまま水遊び、施設の看板への的あて等)
2	集団の中で他児が見本となる。	○発信や動作等、上手く出来ている行動を分かりやすく褒める事で真似に繋がるようにしている。 ○各々の積極性や消極性に配慮しつつ、子どもたち自身も役割を持って参加出来るようにしている。	○子どもたちそれぞれがリーダーになる体験を通じて頼られる事の喜びを体験できるようにしていく。 ○お手本となる児童を場面に応じてその都度選別し、名前を多く発信することで自覚や喜びに繋げられるようにしている。
3	なんでも話しやすい雰囲気づくり。	○子供たちが話している言葉を聞いて何を伝えたいかを考えながら聞くようにしている。 ○保護者も子供たちも「話してもいいかな!」「言ってみよう」気持ちになってもらえるよう心掛けている。	○支援者目線での対応と、本人目線での対応にメリハリをもつよう心掛けている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の共有。	○目の前の事に気を取られがちになり視野が狭くなる。 ○複数の支援者が同じ動きになる。 ○1つの手段・方法にとらわれる事による利用児の「意欲」や「やる気」の低下。 ○支援方法の統一が難しい時がある。(考えが分かれる)	○支援者同士も役割を意識しながらの打ち合わせや確認、支援が始まったら支援者間での声かけをする等、基本的取り組みをしていく。 ○体験して欲しい事や取り組み方を支援者目線ではなく子どもたち目線で考え支援者間での共有をする。 ○支援者側が固定概念を持たず柔軟な思考を心がける。
2	活動・イベントの活発化。	○夏祭りや親子イベントの他に、体験活動やプール、外活動の機会も少しずつ増やしているがもっと増やしていきたいと考えている。	○新たな企画を支援者間で検討し、今まで以上に楽しい活動や行事になるようにしていく。 ○支援者側の興味関心を広め、活動提供の引き出しを増やしていく。 ○チームワークの強化。(アクシデント防止のための支援者配置や声の掛け合い)
3	保護者同士の交流。	○保護者会を開催はしているが参加人数が少ない。 改まった環境が苦手な保護者に対するの対応。	○保護者会でありながらも気軽に参加が出来る開催内容の検討・企画。保護者会+食事会の開催を行う。(令和7年度は開催し参加者が増えた) ○休日開催を検討する。 ○希望があれば個別での対応も検討。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 まーちゃんち

公表日 令和8年3月17日

利用児童数 32名

回収数 28名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2		2	日々の利用人数に対しての配置が知らなかったもので教えて欲しいです。	希望に応じて、電話や送迎時、面談時にお伝えできればと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	4				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	16	他の事業所さんとの交流もあり、お祭り等は楽しんでいます。	行事を通しての交流は難しい現状ですが、公園などの公共施設で遊ぶ際は支援者が必要時に仲介し仲良く交流することができています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2		5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26			2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	21	1	1	5	保護者会が平日だったので仕事の関係で参加出来ませんでした。	保護者会の土日開催を検討していければと思います。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		1	土曜日も受け入れて頂き助かってます。相談にはいつも丁寧に対応してくださるので小さな事でも相談する事ができ感謝しております。	今年度の土曜日開所に関しましては本当に申し訳なく思います。再開の目処が立ちましたらすぐにお知らせいたします。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				安心していられる場所という認識のようです。	子ども達の意思決定や合理的配慮を常に意識し大事にしております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1		1	行って楽しかったと本人から聞いています。	ありがたい気持ちで一杯です。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				・行って楽しかったと本人から発信してくれる大事な機会をつくっていただけています。	とても嬉しいです。今後も楽しく、安心して、共に成長していける場所になっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		まーちゃんち		公表日		令和8年3月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	必要時、壁と対面して机を設置、カーテン等を使用してスペースを分けています。小と中高で部屋を分けての活動提供を行っています。	もっと個別に対応できるスペースがあれば良いと思う時があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	R8年4月より、土曜日の開所及び受け入れ人数を平均10名にすることにより平日の人員確保を行う予定です。人員の確保ができれば土曜の開所を再開していきます。	予算の関係もあるが状況によってはもう少し職員が欲しい。フルで働ける人があと1人いて欲しい。人員不足。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	職員間での情報共有は勤務形態が違う職員がいる為ノートにて行い、利用児に関する事はノートと打ち合わせ等にて行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	必要時、壁と対面して机を設置、カーテン等を使用してスペースを分けています。小と中高で部屋を分けての活動提供を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	用紙等を使っている訳では無いが、それぞれが考え取り組んでいます。勤務形態が違う職員とは連絡ノートを作り共有しています。	もっともっと話し合える環境設定があればと思いました。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎朝のミーティング、午前業務の隙間時間にホールに集まり話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年間5～10回の研修機会を設けています。		
適切な支援の標	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	その都度ケース会議を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	その都度ケース会にて共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	ケース記録へ記入しつつ、当日及び翌日に支援者間で共有しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月の会議にて職員間で共有しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝や利用児が来る前の時間にて共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	出来ない時もありますが可能な限り行っています。 翌日に前日の振り返りを行う事もあります。 勤務形態が違うためノート等を使い共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	常に選択肢を提供し、自身で決定したものに 関しては少しでも実行するよう促しを行って います。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	直接ではないですが、相談事業所の方を通じて共有するようにしていました。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	発達支援センターとの連携はしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	地域の公園や訪問施設にて、遊ぶ際は遊具を共有して楽しめるよう、支援者が声かけや仲介をしています。	児童クラブや児童館との直接的な関わりはまだ取れていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	イベント等で兄弟同士が関わる機会をつくっています。 保護者会を開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	どのような内容であっても職員間で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	出来る限りかみ砕いた言葉で伝えるよう常に心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		コロナが5類に変わった後でもまだ取り組めていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		共有はしていますが、何度も繰り返されているので共有の方法自体を変えてみる必要があると感じています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			